

浅草地域まちづくり総合ビジョンの目的・検討エリア

浅草地域まちづくり総合ビジョンの策定目的

- ・浅草地域は、固有の歴史・文化を活かした日本を代表する国際的な観光拠点である。2011年に墨田区の押上・業平橋地区に開業予定の第2東京タワー（以下「新タワー」）（開業初年度は年間500万人と推定）及び周辺のまちづくりを踏まえ、想定される賑わいの拡がりと呼び込む回遊性の強化を図るとともに、世界に向かって下町の心がもてなす歴史・文化を発信し続けていくことが求められている。
- ・こうした背景を踏まえて、浅草地域まちづくり総合ビジョンは、隅田川の水辺を含めた浅草地域の基盤整備や文化・観光の育成・活用と創出のあり方を検討し、これらの実現化に向けたプログラムを取りまとめたものである。

検討エリア

- ・新タワー建設地である押上・業平橋地区に近い浅草地域を中心に、隅田川の沿川及び台東区、墨田区の主要地域も視野に入れ検討を行った。

